



こうつうあんぜん  
交通安全テスト  
ねんせいよう  
(3・4年生用)

こた あ  
答え合わせ

- ① 歩道等がない道路では、歩行者は道路の右がわを歩く。  
正しければ ○ を、間ちがっていれば × を書きましょう。

★かいせつ★

歩道等がない道路では、道路の右がわの  
なるべくはしを歩きましょう。

広がって歩いたり、ふざけたり遊んだりせず、  
車に気をつけて、右のはしを歩きましょう。  
歩道のある道路では、歩道を歩きましょう。

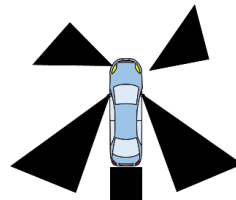


- ② 下の黒色のはんいは、車の運転せきから見えないはんいを表しているが、  
このはんいのことを何というのでしょうか？  
わくの中に答えを書きましょう。

★かいせつ★

車の運転せきから見えない黒色の  
はんいのことを「死角」といいます。

死角に入ると、自分から見えていても、  
運転手からあなたのすがたは見えなくなるので  
大へんきけんです。  
ぜっ対に入らないようにしましょう。



答え



- ③ 車が曲がる時、前のタイヤと後ろのタイヤが通るところに線を引いてい  
ます。(前～ ——、後ろ～ ----)  
写真の線を見ながら事ここにあわないために、気をつけなければならないこ  
とを書いてみましょう。

★かいせつ★

後ろのタイヤが前のタイヤ  
より内側を通ることを  
「内輪差」といいます。

内輪差は、車が大きくなる  
ほどその差が大きくなります。



答え

交さ点では、歩道のはしに立  
たず、少し下がって安全なと  
ころで待つ。など。

## ＜交通安全テスト＞ 解答・解説（3・4年生用）

- ① 歩道等がない道路では、歩行者は道路の右側を歩く。  
正しければ ○ を、間違っていれば × を書きましょう。【○】

【問題のポイント】

★ 歩行者は右側通行が原則です。歩道も路側帯もない道路では、道路の右側端を歩きましょう。

【関係法令等】

- 道路交通法 第10条（通行区分（抜粋））

第1項

歩行者は、歩道又は歩行者の通行に十分な幅員を有する路側帯と車道の区別のない道路においては、道路の右側端に寄って通行しなければならない。ただし、道路の右側端を通行することが危険であるときその他やむを得ないときは、道路の左側端に寄って通行することができる。

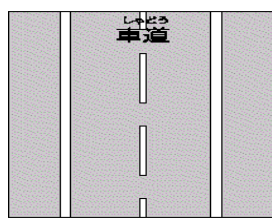
- 交通の方法に関する教則 第2章第2節（歩行者の通るところ（抜粋））

3 歩道も幅の十分な路側帯もない道路では、歩行者は道路の右端を通らなければなりません。しかし、右端を通ると横断を繰り返すことになってかえって危険な場合などは左端を通ることができます。

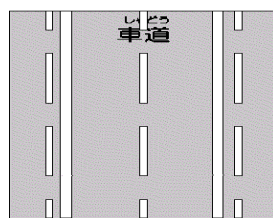
＜指導のポイント＞

歩行者は歩道又は路側帯を通行しましょう。

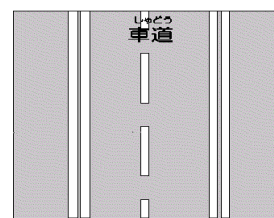
- 歩道～歩行者の通行の用に供するため縁石線又は柵その他これに類する工作物によって区画された道路の部分を用いる。(道路交通法第2条第1項第2号)
- 路側帯～歩行者の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道の設けられていない道路又は道路の歩道の設けられていない側の路端寄りに設けられた帯状の道路の部分で、道路標示によって区画されたものを用いる。(道路交通法第2条第1項第3号の4)



路側帯(白い1本線)



駐停車禁止路側帯  
(白い1本線と破線)



歩行者用路側帯  
(白い2本線)

※ 歩道も路側帯もない道路では、歩行者は道路の右側端を通りましょう。  
ただし、道路工事をしている等、右側端を通行することが危険である場合は道路の左側端に寄って通行することができます。

- ② 下の黒色の範囲は、車の運転席から見えない範囲を表しているが、この範囲のことを何というでしょうか？  
枠の中に答えを書きましょう。

【問題のポイント】

- ★ 車の運転席から見えない範囲のことを死角といいます。  
車には多くの死角があります。

<指導のポイント>

車には多くの死角があります。

車の近くで遊んだりしていると、車の運転者からは姿が見えず、車が後ろに下がったとき等にひかれて大怪我を負う可能性があります。

また、車のミラーを使っても見えないところがあるので、相手があなたに気付いていなければ、そのまま曲がって来たりして大変危険です。

死角には入らないようにしましょう。

③ **車が曲がる時、前のタイヤと後ろのタイヤが通るところに線を引いています。（前～ ——、後ろ～ - - -）**

**写真の線を見ながら事故に遭わないために、気を付けなければならないことを書いてみましょう。**

【問題のポイント】

- ★ 車両が右（左）折するとき後輪が前輪より内側を通過することを「内輪差」といいます。

内輪差は、車両が大きくなるほどその差は大きくなります。

<指導のポイント>

内輪差は、車両が大きくなるほどその差は大きくなります。

つまり、交差点で信号待ちをしている時、歩道のギリギリ前のところで待つと、トラックなどの大きな車の前のタイヤが通過した後、後ろのタイヤが近づいてきて、車に巻き込まれてしまい交通事故になってしまうかもしれません。

交差点で信号待ち等をする場合は、道路から離れた場所で待つようにしましょう。